

キャリア教育「自分の未来像」 ～小学6年生とコラボ～



活動場所：富山市立藤ノ木小学校
日時：10月17日(木)

活動の趣旨

リ・オリガ&碓井エリザベス教養ゼミでは、小学生を対象として、将来に対する興味や意識を持つきっかけになるようなプレゼンテーションを行った。
自分たちの夢や進路選択についての経験を共有することで、早期にキャリアへの興味やイメージを持たせて小学生の将来の選択肢を広げることを目的とした。
また、小学生への指導を通じて、自らの進路や夢を改めて考える機会にもなった。



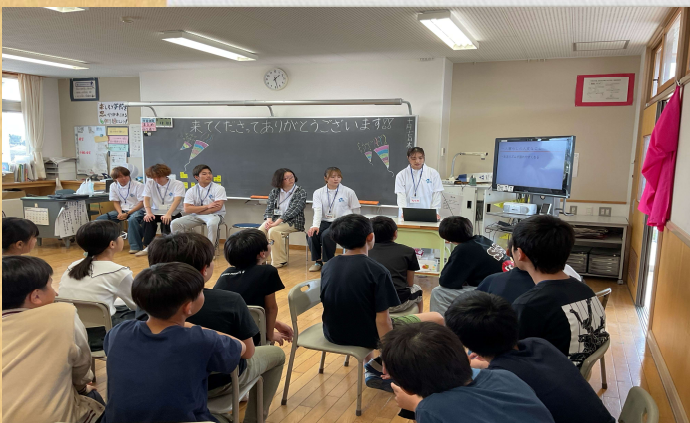
活動内容

5~6人の5つのグループがそれぞれ教室に入り、小学生に向けて以下の内容のプレゼンテーションを行う。

- ・夢へのアプローチ方法
- ・これまでの取り組み
- ・大学選択の理由
- ・進路選択についてのアドバイス
- ・人生の先輩として伝えたいこと

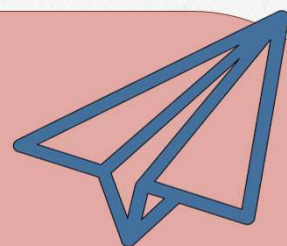
活動時間は2時間(45分×2)であった。

最初の1時間はプレゼンテーションと質疑応答、残りの1時間でグループトークを行った。





交流学习を通じて小学校からのフィードバック



～良かった点～

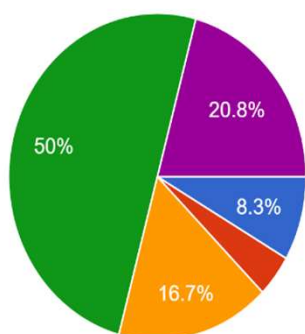
- ・小学校の時から夢の変化や、大学選択の経験について具体的に聞いた
- ・年齢の近い人生の先輩との交流は、子供たちにとってより近い将来をイメージしやすくなった

～改善点～

- ・教員と学生が事前にタイムスケジュールを共有しておくべき
- ・小学生に対して話す内容が適切かどうかの事前確認・指導・助言をすべき
- ・大学生の方に話してもらいたいことを担任から伝えられる機会があれば、大学生にとって真剣に取り組める授業になった
- ・小学校現場が大切にしているルールの共有
- ・子供たちに進路について見通しを持ち、現在の自分について真剣に考えさせたいと思う意図を持っていたが、そこにズレがあった
- ・大学の1つの例としてももう少し県立大学の特徴や、学部・学科の特性を話してもらいたかった

⑤-1この活動を通じて、自分の目標やキャリアについて考えが深まったと感じますか？

24件の回答



- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらとも言えない
- ややそう思う
- 非常にそう思う

～活動を通じて～

活動に参加した学生は自らの目標を小学生に説明することで、キャリアへの意識が強まった

